



組織のトップが学ぶべき アドラー心理学

(1) 目的論

中小企業活力向上オンラインセミナー
人材・組織分野

中小企業活力向上プロジェクトアドバンス実行委員会事務局



「アドラー心理学」と本セミナーのテーマ

アドラー心理学とは

- オーストリアの精神科医・心理学者のアルフレッド・アドラーが創設した心理学
- 他者を変えたり、操作するためではなく、自分が変わるための心理学
- 目的論や主体論、認知論など様々な理論や教えがある

全三回で取り上げるテーマ

第一回目

目的論

第二回目

横の関係と
勇気

第三回目

共同体感覚と
幸せ



「アドラー心理学」と本セミナーのテーマ

アドラー心理学とは

- オーストリアの精神科医・心理学者のアルフレッド・アドラーが創設した心理学
- 他者を変えたり、操作するためではなく、自分が変わるための心理学
- 目的論や主体論、認知論など様々な理論や教えがある

全三回で取り上げるテーマ

第一回目

目的論

第二回目

横の関係と
勇気

第三回目

共同体感覚と
幸せ



スタッフからの報告。どう答える？



明日納期の商品を
発注し忘れてしまいました
今から発注しても、もう間に合いません



スタッフからの報告。どう答える？

1

「ばかやろう！」と怒鳴る・叱る



スタッフからの報告。どう答える？

1 「ばかやろう！」と怒鳴る・叱る

2 「どうしてそんなことになったんだ？」と原因を探す



スタッフからの報告。どう答える？

1 「ばかやろう！」と怒鳴る・叱る

2 「どうしてそんなことになったんだ？」と原因を探す

3 「お客さまのために、今から何ができるだろう？」
と、別の方法を一緒に考える



スタッフからの報告。どう答える？

1

「ばかやろう！」と怒鳴る・叱る

2

「どうしてそんなことになったんだ？」と原因を探す

3

「お客さまのために、今から何ができるだろう？」
と、別の方法を一緒に考える



目的論で考える

- ものごとの目的を考えること。
- 過去は変えられないので、
未来のために”今からどうするか”を考える
- ↔ 原因論 = なぜなぜ分析

原因が分かって、目の前の問題は解決しないし、
勇気が削がれるだけ



スタッフからの報告。どう答える？

1

「ばかやろう！」と怒鳴る・叱る

2

「どうしてそんなことになったんだ？」と原因を探す

3

「お客さまのために、今から何ができるだろう？」
と、別の方法を一緒に考える



目的論と感情

- すべての感情や行動には目的があり、主体的に選び取って、感情を使っている
- 怒ったり、泣いたりすることにも目的がある
(例)
 - 相手より大きく自分を見せたい
 - 相手に自分の言うことをきかせたい
- 怒りは人と人を引き離す感情なので、なるべく”使わない”
(まずは”使っている自分”に気づくこと。
次に、”使わない”と決めること。)



目的論で考えるためのセルフクエスチョン

- 相手/私の本当にほしいものはなんだろうか？
- その目的を満たすには、他にどんなやり方があるのだろうか？
- もっと大切なこと(さらに上位の目的)はなんだろうか？
- 本当に望んでいる未来はなんだろうか？
どうしたら叶えられるのだろうか？